

夏やすみ

もいいかな……、なんて思つたりする。

七夕を過ぎる頃になると、お弁当やお帰りの時間は、子どもたちの夏のお楽しみの話題で賑わう。

「あとじゅつかいねたらね、ながのおばあちゃんちに、おとまりにい

くんだよ」

「あたしね、みんなでグアムにいくの」

「みんな、どうしてるかな～？」と思い始めるのだ。

子どもたちから届いた葉書に、かわいらしい字で、

「おげんきですか。あいたいです。○○より」

なんて書いてあつたりすると、もしかしたら母親に言わ

れて書いたのかもしれないその言葉に素直に喜び、

「私も会いたい！」などと思うのだから、私は保育の仕事がやつぱり好きなのかもしれない。



その⑤

* さとうひろこ *

ントに心を躍らせて いるよう。

子どもたちの楽しい話題に耳を傾けながら、私も気分はもう夏休み。行つたことも行けそうもないグアムでのんびりくつろいでいる自分を想像したりしている。

三十五人の子どもたちとの毎日の暮らしさは、本当に刺激的で楽しいのだけれど、一学期は刺激の方がいささか勝っているようで、終業式を迎える頃にはちょうどいい具合に、お互い少々うんざりし、しばらく顔を見なくて

いいから、だんだんと、

「みんな、どうしてるかな～？」と思い始めるのだ。

子どもたちから届いた葉書に、かわいらしい字で、

「おげんきですか。あいたいです。○○より」

なんて書いてあつたりすると、もしかしたら母親に言わ

れて書いたのかもしれないその言葉に素直に喜び、

「私も会いたい！」などと思うのだから、私は保育の仕事がやつぱり好きなのかもしれない。

九月の久しぶりの再会は、嬉しさのあまり、いつもな

んだか妙に照れる。子どもたちと一緒に園庭をひとつ走りして、やつといつも

の調子に戻つたりす

る。そんな新鮮な出会いが出来るのも夏休みがあるおかげかもしだれ

ない。（幼稚園勤務）

